

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI武蔵浦和		
○保護者評価実施期間	2025年12月8日		～ 2025年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援員とのコミュニケーションを楽しみに継続的にご来所いただいているお子様がいらっしゃる。	・運動時間以外の自由時間等にお子様好きなもの、マイブームなこと等、雑談する機会が多くある。運動以外にも共通の話題を通して会話することで居心地の良さやコミュニケーションの楽しさを感じていただけているのだと思う。	・引き続き、お子様との信頼関係を深め、些細なことでも報告したり相談しやすい関係を築いていけるようにコミュニケーションを深めていく。
2	・見学や保護者プログラムを通して、お子様の発達状況を認識し、声掛けや環境設定等を学ぶことができる。	・保護者プログラムは都度種目や流れを工夫して立案している。安全面に配慮した配置設定、スムーズに進行できるように事前にデモンストレーションを行っている。	・保護者様が参加不可能な場合は支援員がベアとなり取り組んでいる。お迎え時にお子様の様子や発達状況、課題に向き合う姿勢等、情報共有を細やかに行っていくことで発達課題等を共通理解していく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・提携している駐車場がなく、保護者様より「時間帯や曜日によっては送迎困難」というご意見をいただいている。	・立地的な要因	・契約時に駐車場がないことを伝え、車で送迎される場合は最寄りのパーキングを案内する。また、駅からのバスの案内、時刻表の案内を行う。
2	・駐輪場の停められる台数が少ない。曜日や保護者プログラム時には利用人数が同時間帯に重なり「駐輪できずに困っている」とご意見をいただいている。	・複数のテナントが入っているため駐輪可能な台数には限りがある	・職員が駐輪場付近に立ち交通誘導する。 クールの入れ替わり時は速やかに移動できるように迅速な対応を行う。 ・駐車している車の迷惑にならない位置に駐輪していただくように伝える。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	TAKUMI武蔵浦和
------	------------

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 38

回収数 : 22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1	0	0	・初めて伺った時、先生方の人数が少なく大変そう、ありがたいという印象だった。	こちらこそいつもありがとうございます。今後も引き続き安全に十分配慮し支援にあたります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1	0	0	・別室の鍵を開ける子がいるため、『×』等のマークで表すと良い。 ・スイッチや鍵の位置により配慮が必要だと思う。	視覚情報で訴えかける手立てを検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	22	0	0	0		
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	3	0	0	*未記入者 1名	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	2	・支援計画と発達状況に関して、理解が乏しい部分がある。	お子様の発達状況に関して、共通理解を図れるように善処いたします。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1	0	1	・保護者の理解を深めて、共有したいと考えている。	上記同様
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2	0	0	・イベントが多く、行くことを楽しみにしている。	ありがとうございます。今後もお子様が楽しく参加いただけるよう工夫を凝らしたイベントを企画、実施していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	9	4	・地域のお祭り等で家庭と地域はかかわりの機会があるため、事業所を通して地域との関わりがなくても困ることはない。今のままでいいと思う。 ・お願いするほど、困っていないため利用していない。	
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	1	5	・家族参加イベントはあるが、ペアトレまでは行っていない。 ・必要に応じて情報共有をいただけるのか、それとも年に何回など決まっているのか。	年に何回等の規則の定めはございません。保護者様のご要望に応じて情報共有できる場を設けるか検討いたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	21	1	0	0	・日々活動についてどうだったかのフィードバックはあるが、今の発達状況の共通理解までは話せていないと思う。	モニタリング面談時等で、共通理解できるように対応いたします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	3	0	1	・面談は計画書作成変更時にあるが、子育てに関する助言ではない。	モニタリング面談時、またはフィードバック時にてご家庭での様子等をお伺いする時間を捻出しております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1	0	1		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	6	6	・保護者や兄弟同士の関わりを望む人も望まない人もいると思う。 ・事業所で開催しなくても、関わりたい人は繋がると思う。 ・保護者同士の交流は求めている。 ・そのようなイベントが開かれる際は、可能な限り参加したい。	・ご要望される方が複数ありましたら、保護者様同士で情報共有したりかかわりを持つイベント等の企画を検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1	0	0	・毎回のフィードバックの際、もう少し大きな声で説明してほしい。	こちらの配慮不足で大変申し訳ございません。保護者様に聞き取りやすい声量でのフィードバックを努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	3	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	1	3		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	1	0	0	・TAKUMIの先生たちには苦手なこと等、相談しやすい様子。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後もよりお子様との信頼関係を深め、相談しやすい関係を築いてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	0	0	・運動は苦手だが、TAKUMIには楽しく通っている。	運動に苦手意識を抱えているお子様にも、運動を「楽しい、面白い」と感じてもらえるように、引き続き工夫した運動プログラムを実施していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	0	0	0	・フィードバックが丁寧で安心感がある。	保護者様に安心を与えられるよう、日々丁寧なフィードバックを心がけております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI武蔵浦和		公表日		2026年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・小学生以上の年齢かつ待機が可能なお子様が来所予定のクールのみ大人数を設定している。人数を分けて活動をするなど衝突を避けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・法律上の基準は満たしている。	・職員の欠勤があった場合に個別対応が必要なお子様の対応で手一杯になることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・「相談室」「事務室」等の文字に加えて絵が描かれていることにより、どんな場所なのか、子どもたちが視覚でもわかるようになっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・子どもたちが広く使えるよう机などがしまわれている。毎日掃除をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・気持ちの切り替えに相談室等の使用している。使用する際には、指導員に一声かけるか、一緒に入室している。 ・クールダウンする場として、相談室の入室を許可している。扉を閉める場合は指導員とともに入室し、一人での空間にはしない。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	・広く職員が参画していない。一部の職員のみ。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・職員が話を聞き、保護者様からの評価を把握する。 ・自己評価表を配布、回収し保護者からの評価を共有している。見改善の部分もあるため改善へ繋がっていきたい。	・保護者様からのご意見を真摯に受け止め、お子様及び保護者様への対応を意識的に改善するよう努めていく。 (声の大きさ、子どもへの接し方等)	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		・業務の進め方について改善や相談する機会を定期的につけていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		・第三者評価は実施していない。今後必要に応じて検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・定期的に研修が行われており、学びを深める機会になっている。 ・年間スケジュールにて予め研修時期、内容を定めており実施している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・子どものニーズに合わせた本人支援の計画書作成が難しく感じるときがある。(課題ではあるが本人の困り事ではない等)	・保護者様のみではなく、お子様本人にも希望を伺う時間を作る。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	・共有の仕方を見直していきたい。 ・全体共有ができていない部分がある。記録表等、全員が目を通すファイルに課題を入力し共有、ミーティングの際に確認していく。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	・各クールの内容はクールを持った支援員が主にプログラムを構成しており、それを全体に伝えてから行ってはいない。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・できるだけ固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・子どもによっては創作活動等の個別活動の実施課題を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・ミーティングを行い前回来所時の様子、注意点の確認等を行っている。支援内容の全体共有は部分的にはできているときもあるが、全体の流れの把握は行ってない。個別対応の必要なお子様への役割分担は都度行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・療育後のミーティング等で日々の出来事を共有している。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・定期的にモニタリング面談を実施、計画の見直しを図っている。保護者との面談にて情報共有したのち、原案から変更し適切な課題へと変更する場合もある。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	・必要に応じて事業者間連携会議に参加し情報共有を定期的実施している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・相談支援事業所等での連携は図っているが主治医や医療機関とは連携を図っていない。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	・園訪問にて支援内容の情報共有、相互理解を図っているがインクルージョン推進の観点ではない。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	・全ての保護者との間で学校と連携を取り、情報共有が行われているのかよく分かっていない。 ・図っていると思う。 ・保護者からの要望によって、就学に向けたサポートシート等を職員全体で確認、課題を抽出し記録した書類をお渡ししている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	・わからない。	・今後、児童発達支援センターとの連携(訪問等)を図り、必要に応じて見学させていただいたり教室での支援に活かしていきたい。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	・園訪問はあったが、地域交流は見られていない。 ・園訪問は行っているが交流目的ではない。地域交流等での子どもとのかかわりも行ってない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・フィードバックの際、お子様の状況を伝え共有している。 ・毎回のフィードバックで療育内容、課題の共有、今後の取り組み等をお伝えし共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	・わからない。 ・親子プログラムと一緒に運動する機会を定期的に設けているがペアレント・トレーニングは行ってない。	・親子プログラムの在り方や実施時期について見直しを図る。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に必ず説明を行っている。療育を始めたばかりの方にも理解しやすく伝えるよう努めている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・契約時、フェイスシートを用いて子ども、保護者の意思を確認し支援計画書に反映して。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・初回ご利用時に支援計画書を示し内容説明、同意を得てからお控えを渡している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・児発管との面談を通して、悩み等の相談は行えていると思う。 ・モニタリング面談以外にもお子様の状況によって相談の場が必要と判断する場面では面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	・保護者同士だからこそ分かり合える共通が見つけられそうだと思う。 ・保護者同士で交流する機会を求めている方がいる場合、お子様のみではなく保護者の悩み相談や情報共有する場として教室を提供したい。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・相談があった際は迅速に電話対応もしくは面談対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・LINEにて保護者様へ連絡している。 ・イベント週間や親子プログラム等、LINEを通して定期的に情報発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	・書類がいろんな机の上にある。	・退所者や児発から放デイへの移行者等の過去の書類管理を定期的に行っていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・わからない。 ・地域住民との交流の機会は設けていない。	
非常	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・避難訓練、火災訓練をしている。事前にLINE通知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・定期的に非常災害時(地震、火災、水害時)の訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・確認していると思う。 ・電話での問い合わせ時、契約時に保護者に確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4	・お子様にお渡しするお菓子は予めアレルギー表を提示している。 ・わからない。 ・アレルギーの有無は契約時に保護者に必ず確認を取っている。	

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの内容共有はしているが書けていないものがある。 ・ヒヤリハットの共有は行っているが記録件数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にヒヤリハット報告書の件数や内容を確認する。またヒヤリハットが発生したらすぐに報告書作成、格納できているか確認を行う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修を定期的実施している。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に身体拘束同意書の説明を必ず行い了承を得ている。 安心を与えるためにも具体例を示す等、丁寧な説明を行っている。 	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI武蔵浦和教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月8日		～ 2025年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援員とのコミュニケーションを楽しみに継続的にご来所いただいているお子様がいらっしゃる。	・運動時間以外の自由時間等にお子様が好きなもの、マイブームなこと等、雑談する機会が多くある。運動以外にも共通の話題を通して会話することで居心地の良さやコミュニケーションの楽しさを感じていただけているのだと思う。	・引き続き、お子様との信頼関係を深め、些細なことでも報告したり相談しやすい関係性を築いていけるようにコミュニケーションを深めていく。
2	・見学や保護者プログラムを通して、お子様の発達状況を認識し、声掛けや環境設定等を学ぶことができる。	・保護者プログラムは都度種目や流れを工夫して立案している。安全面に配慮した配置設定、スムーズに進行できるように事前にデモンストレーションを行っている。	・保護者様が参加不可能な場合は支援員がヘアとなり取り組んでいる。お迎え時にお子様の様子や発達状況、課題に向き合う姿勢等、情報共有を細やかに行っていくことで発達課題等を共通理解していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・提携している駐車場がなく、保護者様より「時間帯や曜日によっては送迎困難」というご意見をいただいている。	・立地的な要因	・契約時に駐車場がないことを伝え、車で送迎される場合は最寄りのパーキングを案内する。また必要に応じて最寄り駅からのバスの案内、時刻表の案内を行う。
2	・駐輪場の停められる台数が少ない。曜日や保護者プログラム時には利用人数が同時間帯に重なり「駐輪できずに困っている」とご意見をいただいている。	・複数のテナントが入っているため駐輪可能な台数には限りがある。	・職員が駐輪場付近に立ち交通誘導する。 クールの入れ替わり時は速やかに移動できるように迅速な対応を行う。 ・駐車している車の迷惑にならない位置に駐輪していただくように伝える。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI武蔵浦和教室

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 43

回収数 : 25

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	4	1	0	・ランニングやドッジボールをするには、少し狭いように思う。 ・高学年以上になると、もう少し広さがあると良いと思う。 *未記入者 1名	・ご意見ありがとうございます。限られたスペース内で事故等が発生しないよう安全面に配慮し支援にあたります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1	0	0	・やむを得ない状況だと思う。少ないと感じることもある。	・人数の関係上、フィードバック等で待たせしてしまう場面もありご迷惑をおかけし申し訳ございません。今後も一人一人のお子様と向き合って支援できるよう努めてまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	0		
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1	0	1	・難しい子どもでお手数おかけしていて、母も苦労している。 ・見学の際は、保護者側も勉強になる声掛け。 *未記入者 1名	・声掛け等、ご家庭でも参考にしていただけだと幸いです。引き続きよろしくお願いたします
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	0	0	1	・とても工夫してもらっていると思う。	・嬉しいお言葉ありがとうございます。今後もお子様が楽しくご来所いただけるように様々な運動や創作活動、イベント行事を企画、実施してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	3	12	6	・ないと思う。 ・外部の子どもとの交流は特に希望していない。 ・特に求めているいない。 ・特に必要性は感じない。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	0	*未記入者 1名	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	6	1	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	25	0	0	0	・職員皆、毎回声掛けしてくれている。 ・一人の先生は、声が小さく何を言っているか分からない。子どものことがあまり好きでなさそうに感じる。	・ご意見ありがとうございます。お言葉を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。今後も何かお気づきのことがございましたら、ご教示ください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	0	0	0		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	11	8	2	・親子プログラムはあるが、保護者同士との交流も兼ねているのか。 ・兄弟がお迎えに付き添っている家庭では、兄弟児にも声掛けしている。	・親子プログラムは普段のお子様の様子や発達状況を共有する場として設定しているため、保護者様同士の交流が目的ではありません。保護者様同士の交流をご要望されている方が複数名おられる場合、今後交流イベント等の実施を検討してまいります。お気軽にお知らせくださいませ。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1	0	0	*未記入者 1名	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	6	1	3	・あまり見ていない。	・SNS等の発信が滞っており申し訳ございません。イベント行事等のお知らせは従来通りLINEに定期的に発信させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	3	・ぶつかった時や転んだ時等の些細なことも、丁寧にオープンに報告している印象。とても安心できる。 ・まだその状況になっていないため、わからない。 ・事例がない。 *未記入者 1名	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	3	0	0	・毎週とても楽しみにしている。子どもの1つの居場所になっている。 ・先生たちのことが大好き。毎回楽しみにして通っている。	・嬉しいお言葉ありがとうございます。今後もお子様にとって安心できる居場所として在り続けられるよう、お子様と真つすぐ向き合い信頼関係を築いてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	0	・体を動かすことの苦手意識がなくなり、「やってみよう」と前向きな様子がみられ、本当にうれしい。 ・いつもありがとうございます。	・こちらこそいつもありがとうございます。運動が「楽しい」「やってみたらできた！」という小さな成功体験を積み重ねていけるように、今後もお子様に寄り添いながら個々の挑戦を応援し、一緒に課題を克服できるように努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI武蔵浦和				公表日	2026年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日掃除、消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・クールダウンが必要な場面等、個別対応時には面談室等を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2		・自身の業務に関しての目標設定及び振り返りを行う機会を設定し定期的に見直し、改善を図っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・日々、療育前後にミーティングを実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・契約時、支援計画更新時の面談にて子ども、保護者のニーズ、課題をヒアリングし共有、支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2		・チームというより「個」で立案している。事前に運動プログラムの内容共有、サブの動き等の確認をより綿密に行っていく。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・基本的には少人数制での療育を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		・事業者間支援会議を定期的実施している。 ・今後、関係機関との連携をより強化し子ども情報共有、支援の統一を図っていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	・行っていると思う ・主に保護者の方と情報共有を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・モニタリング面談以外で別途、相談事がある場合は対面面談を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	・親子プログラムを定期的実施。お子様と一緒に運動に参加していただき、親子で楽しみながらコミュニケーションを図る機会を設けている。ペアレント・トレーニングまでには至っていない。	・保護者様同士の交流をご要望されている方が複数枚おりましたら、交流イベントの企画、実施を検討してまいります。お気軽にお知らせください。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時面談時、丁寧に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	*未記入1	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・事前の注意事項等で、脱臼しやすい服薬のあるお子様は把握して対応している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	・ヒヤリハットが発生した際には職員間で必ず共有、再発防止の案を検討している。	・定期的にヒヤリハット報告書の確認、発生後の報告書作成を迅速に行うように留意する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			